

## 株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

中間配当金受領株主  
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告

当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、生みそすい(即席みそ汁等)、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

### 【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

# 第66期報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日



▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 木下 博隆

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第66期報告書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策等による企業収益の改善や外国人観光客によるインバウンド需要を背景に、緩やかな景気回復が見られました。一方で、中国をはじめとする新興国の景気下振れの影響や、円安に伴う実質所得の低下による個人消費の伸び悩みなど、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

食品業界においては、依然として企業間競争は厳しく、円安による原材料価格高騰への対応や、フードディフェンスを含めた食の安心・安全への取り組み強化が求められております。

このような状況のなか、当社グループは、適正な販売価格の維持と、新商品、リニューアル品の投入により売上高の増加に努めてまいりました。その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、94億9千9百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

利益面では、売上高の増加、生産体制や商品の見直し等による売上原価の改善などにより営業利益は2億3百万円（前年同期は2億7千2百万円の損失）となりました。経常利益は製品自主回収関連費用の発生もありましたが2億円（前年同期は2億5千万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億6千2百万円（前年同期は2億1千2百万円の損失）と改善いたしました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐部門】

凍豆腐では、当社グループ独自の新たな製法による減塩タイプの凍豆腐で健康への訴求を推進し積極的に拡販してまいりましたほか、トピックスでも記載しているように当社食品研究所が長年研究を行い発表した論文などを基に、余分なコレステロールを排出する効果があるレジスタントタンパクを多く含む食品として普及活動を行い、凍豆腐市場の維持拡大に努めてまいりました。また、凍豆腐を粉末状に加工した粉豆腐がメディアに継続的に取り上げられており、惣菜・菓子などへの凍豆腐利用など、新しい調理方法の提案型販売促進を展開し、新規販売チャネルの開拓を続けてまいりました。加えて、前連結会計年度の価格改定も浸透してきており、販売量も回復してきたことから売上高は43億2千8百万円（前年同期比17.8%増）と大きく増加いたしました。

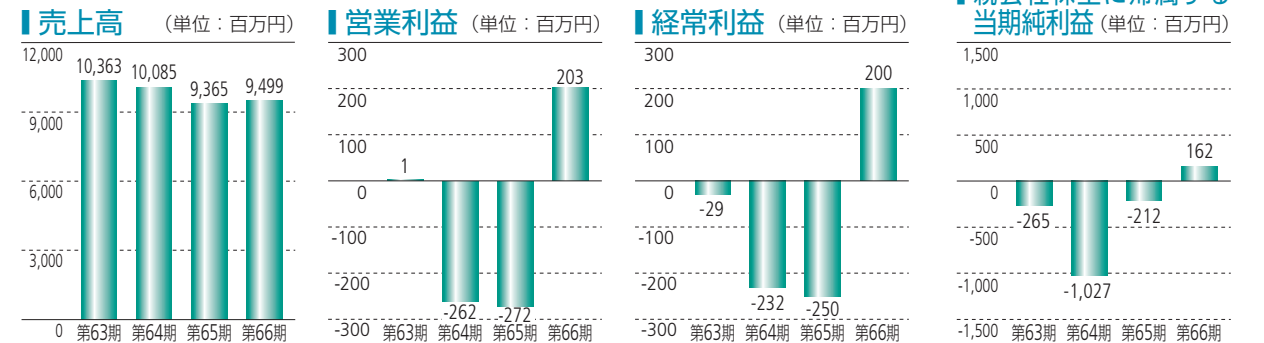
【加工食品部門】

加工食品においては、袋入りタイプで徳用品のリニューアルを行い、季節感のある「生みそずい粕汁4食」などを発売いたしました。カップ入りタイプでも当社独自の技術で大豆をフレーク状に加工した具材のスープ「大豆を食べるスープ」などスープのバリエーションの拡充を図りました。しかし、依然として低価格競争は激しく販売価格維持に努めてまいりましたが、販売数量が減少し、売上高は32億8千8百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

【その他部門】

その他の食料品では、売上高は18億4千4百万円（前年同期比8.4%増）となりました。この中で特に医療用食材については安定的に成長しており、新たな事業の柱としての期待が高まっております。この事業では南信州地域の官民が一体となり、健康長寿社会を支える地域産業を目指す団体である「飯田メディカルバイオクラスター」に参画し、今後更なる需要が予想される一般家庭向け介護用食材商品を発売するなど新しい販売方法にもチャレンジしております。

▶ 業績の推移



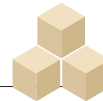
トピックス

## 凍り豆腐の最新健康機能性研究について

当社では、凍り豆腐の健康機能性に関する研究成果を論文化し、「こうや豆腐普及委員会」を通じて発表してきております。一昨年の平成26年5月19日に「凍り豆腐(こうや豆腐)の長期摂取試験結果に関するお知らせ」に引き続き、今回、「凍り豆腐にレジスタントタンパクが多く含まれる理由」について、そのメカニズムを明らかにした内容を発表いたしました。

### 研究成果を発表

#### なぜ？凍り豆腐にレジスタントタンパクが多く含まれている理由



平成26年5月研究発表 ▶▶▶

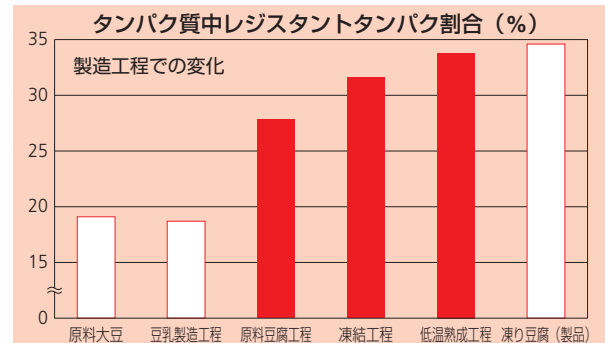
凍り豆腐にはコレステロール調節・食後の中性脂肪上昇を抑制する作用があることが分かりました。その要因として凍り豆腐にはレジスタントタンパクが豊富に含まれていることが判明しました。

平成27年5月研究発表 ▶▶▶

凍り豆腐のレジスタントタンパクの機能性について、より詳細なメカニズムを検討し、脂質の吸収抑制効果が実際にあることを確かめました。

平成28年5月18日発表の研究では ▶▶▶

「なぜ、凍り豆腐にレジスタントタンパクが多く含まれているのか」について研究してきました。その結果、秘密は凍り豆腐の製造工程にあり、時間とエネルギーを掛ける各工程によりレジスタントタンパクを増加させていることが解明できましたので、発表いたしました。



\* 本研究を著した論文：Kori-tofu Making Processes Increase High-molecular-weight Fraction(HMF)が、Japanese Pharmacology & Therapeutics vol.44 no.4 613 (2016) に掲載されました。

## 凍り豆腐がレジスタントタンパクを多く含む工程とその理由

### ①圧縮 豆腐形成 工程

凍り豆腐の原料豆腐は、木綿豆腐に近い方法で製造されますが、そのプレス圧が強いことからタンパク質同士の結びつきが強くなり、レジスタントタンパクが形成されます。(図①)

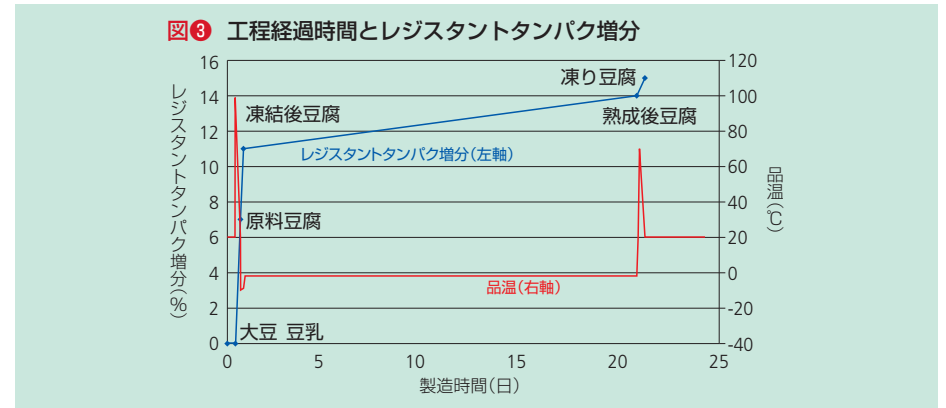
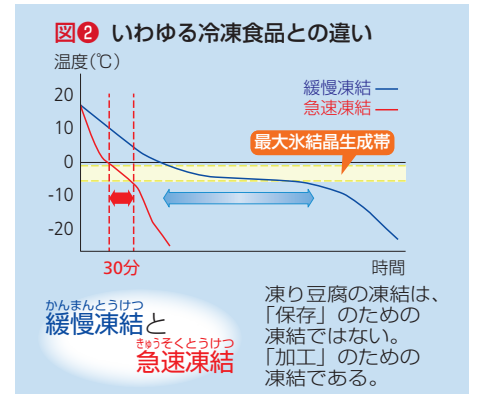
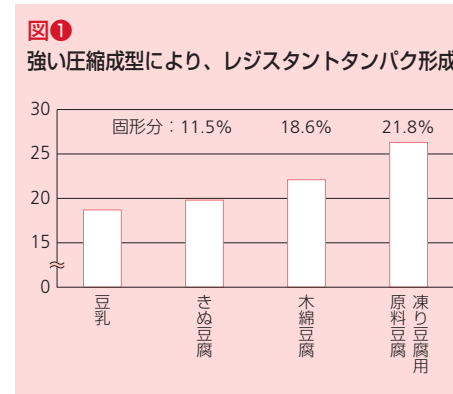
### ②凍結工程

凍り豆腐製造工程の凍結は緩慢凍結(ゆっくり時間を掛けて凍らせる、図②)です。一般的に凍結速度がゆっくりになると氷結晶(凍結によってできる氷の結晶)のサイズが大きくなることが知られています。大きな氷結晶によってタンパク質が押し寄せられ、結合が強くなることによってレジスタントタンパクが形成されます。

### ③低温熟成工程

凍り豆腐は、凍結後に-2℃の環境で3週間もの長い間熟成されます。この間に凍結で形成された氷結晶がさらに成長し、より多くのレジスタントタンパクが形成されます。(図③)

### 凍り豆腐製造工程の紹介



▶ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 当連結会計年度		科目	前連結会計年度 当連結会計年度	
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在		平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	5,001,916	5,013,854	流動負債	1,673,383	1,796,303
現金及び預金	1,989,403	2,298,569	支払手形及び買掛金	762,289	642,115
受取手形及び売掛金	1,867,907	1,690,116	短期借入金	231,134	225,871
たな卸資産	1,067,504	954,657	リース債務	4,777	33,818
繰延税金資産	884	3,219	未払金	412,541	411,845
その他	81,442	71,870	未払法人税等	17,468	40,510
貸倒引当金	△5,224	△4,580	賞与引当金	25,942	93,369
			設備関係支払手形	41,002	115,075
			繰延税金負債	2,060	—
			その他	176,166	233,697
固定資産	4,195,484	4,241,783	固定負債	1,131,355	1,201,159
有形固定資産	3,518,945	3,615,434	長期借入金	655,410	459,539
建物及び構築物	1,074,659	1,066,033	リース債務	9,913	120,444
機械装置及び運搬具	666,115	681,167	繰延税金負債	94,811	90,129
土地	1,671,643	1,671,643	退職給付に係る負債	315,399	474,807
リース資産	15,222	117,841	資産除去債務	47,720	48,137
建設仮勘定	27,450	25,684	その他	8,100	8,100
その他	63,854	53,064	負債合計	2,804,738	2,997,463
無形固定資産	446,116	384,299	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	230,422	242,049	株主資本	6,331,922	6,465,952
投資有価証券	151,145	169,119	資本金	1,617,844	1,617,844
繰延税金資産	—	1,576	資本剰余金	1,632,423	1,632,423
その他	79,277	76,045	利益剰余金	3,209,875	3,345,187
貸倒引当金	—	△4,691	自己株式	△128,221	△129,503
資産合計	9,197,400	9,255,638	その他の包括利益累計額	11,471	△255,575
			その他有価証券評価差額金	19,385	17,962
			繰延ヘッジ損益	4,221	△228
			為替換算調整勘定	143,197	121,987
			退職給付に係る調整累計額	△155,332	△395,297
			非支配株主持分	49,268	47,798
			純資産合計	6,392,662	6,258,174
			負債及び純資産合計	9,197,400	9,255,638

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 当連結会計年度	
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	9,365,648	9,499,509
売上原価	7,286,938	6,933,575
売上総利益	2,078,709	2,565,933
販売費及び一般管理費	2,351,023	2,362,415
営業利益又は営業損失(△)	△272,313	203,518
営業外収益	32,569	26,420
営業外費用	11,000	29,043
経常利益又は経常損失(△)	△250,744	200,894
特別利益	287,566	2,137
特別損失	244,115	13,357
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△207,293	189,675
法人税、住民税及び事業税	13,497	34,575
法人税等調整額	△8,629	△8,560
当期純利益又は当期純損失(△)	△212,161	163,660
非支配株主に帰属する当期純利益	62	886
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△212,224	162,774

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当 期 首 残 高	1,617,844	1,632,423	3,209,875	△128,221	6,331,922	19,385	4,221	143,197	△155,332	11,471	49,268	6,392,662
当 期 変 動 額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	△27,461	—	△27,461	—	—	—	—	—	—	△27,461
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	162,774	—	162,774	—	—	—	—	—	—	162,774
自己株式の取得	—	—	—	△1,282	△1,282	—	—	—	—	—	—	△1,282
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,422	△4,450	△21,209	△239,964	△267,047	△1,470	△268,517
当 期 変 動 額 合 計	—	—	135,312	△1,282	134,030	△1,422	△4,450	△21,209	△239,964	△267,047	△1,470	△134,487
当 期 末 残 高	1,617,844	1,632,423	3,345,187	△129,503	6,465,952	17,962	△228	121,987	△395,297	△255,575	47,798	6,258,174

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 当連結会計年度	
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△859	813,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△810,592	△249,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	808,411	△247,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,483	△7,711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,442	309,165
現金及び現金同等物の期首残高	825,931	834,373
現金及び現金同等物の期末残高	834,373	1,143,539

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

4期ぶりの増収増益

▶ 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度	科目	前事業年度	当事業年度
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在		平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	4,650,152	4,646,341	流動負債	1,553,370	1,693,256
現金及び預金	1,779,377	2,058,613	支払手形	43,139	42,580
受取手形	20,015	15,574	買掛金	600,239	513,517
売掛金	1,758,693	1,601,747	1年内返済予定の長期借入金	189,972	189,972
商品及び製品	347,338	351,916	リース債務	2,431	14,931
仕掛品	257,778	253,475	未払金	490,288	485,280
原材料及び貯蔵品	399,780	303,537	未払費用	98,504	105,302
前渡金	16,858	—	未払法人税等	16,013	34,458
前払費用	22,238	20,677	未払消費税等	38,434	98,458
その他	48,557	41,110	預り金	7,239	7,377
貸倒引当金	△486	△310	賞与引当金	24,004	86,258
			設備関係支払手形	41,002	115,075
固定資産	4,142,728	4,188,509	繰延税金負債	2,060	—
有形固定資産	3,118,290	3,240,249	その他	40	44
建物	683,175	683,940	固定負債	959,153	745,417
構築物	112,977	130,178	長期借入金	644,211	454,239
機械装置	554,348	601,568	リース債務	4,244	65,300
車両運搬具	5,712	5,716	長期未払金	3,750	3,750
工具器具備品	56,624	47,272	長期預り金	4,350	4,350
土地	1,671,643	1,671,643	繰延税金負債	94,811	90,129
リース資産	6,358	74,244	退職給付引当金	160,066	79,510
建設仮勘定	27,450	25,684	資産除去債務	47,720	48,137
無形固定資産	426,358	340,105	負債合計	2,512,523	2,438,674
ソフトウェア	404,317	313,397	<b>純資産の部</b>		
ソフトウェア仮勘定	—	5,010	株主資本	6,256,749	6,378,443
その他	22,040	21,697	資本金	1,617,844	1,617,844
投資その他の資産	598,078	608,154	資本剰余金	1,632,423	1,632,423
投資有価証券	93,301	111,274	資本準備金	1,632,423	1,632,423
関係会社株式	107,844	107,844	利益剰余金	3,134,703	3,257,678
出資金	7,997	7,887	利益準備金	155,900	155,900
関係会社出資金	318,084	318,084	その他利益剰余金	2,978,803	3,101,778
従業員長期貸付金	3,572	1,725	買換資産圧縮積立金	186,849	191,252
長期前払費用	14,378	10,426	別途積立金	3,000,000	2,750,000
敷金	20,972	21,157	繰越利益剰余金	△208,046	160,525
その他	31,928	29,754	自己株式	△128,221	△129,503
資産合計	8,792,880	8,834,851	評価・換算差額等	23,607	17,734
			その他有価証券評価差額金	19,385	17,962
			繰延ヘッジ損益	4,221	△228
			純資産合計	6,280,356	6,396,177
			負債及び純資産合計	8,792,880	8,834,851

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	8,973,673	9,037,742
売上原価	6,984,468	6,596,038
売上総利益	1,989,205	2,441,704
販売費及び一般管理費	2,276,534	2,267,473
営業利益又は営業損失(△)	△287,329	174,230
営業外収益	43,201	35,530
営業外費用	6,128	27,263
経常利益又は経常損失(△)	△250,256	182,498
特別利益	280,334	385
特別損失	244,115	11,581
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△214,037	171,302
法人税、住民税及び事業税	11,245	25,513
法人税等調整額	△9,685	△4,648
当期純利益又は当期純損失(△)	△215,597	150,436

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ① 売上高

適正な販売価格の維持と新商品、リニューアル品の投入等により増収。特に凍豆腐は値上の浸透により大きく改善。

POINT ② 売上総利益・営業利益

増収と生産体制・商品の見直しにより増益。

POINT ③ 当期純利益

4期ぶりに黒字を達成。

▶ 株主資本等変動計算書

当事業年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	買換資産圧縮積立金	別途積立金							繰越利益剰余金	
当期首残高	1,617,844	1,632,423	1,632,423	155,900	186,849	3,000,000	△208,046	3,134,703	△128,221	6,256,749	19,385	4,221	23,607	6,280,356
当期変動額	—	—	—	—	4,402	△250,000	△4,402	—	—	—	—	—	—	—
買換資産圧縮積立金の積立	—	—	—	—	4,402	—	△4,402	—	—	—	—	—	—	—
別途積立金の取崩	—	—	—	—	—	△250,000	250,000	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△27,461	△27,461	△27,461	△27,461	—	—	—	△27,461
当期純利益	—	—	—	—	—	—	150,436	150,436	—	150,436	—	—	—	150,436
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,282	△1,282	—	—	—	△1,282
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△1,422	△4,450	△5,872	△5,872
当期変動額合計	—	—	—	—	4,402	△250,000	368,572	122,975	△1,282	121,693	△1,422	△4,450	△5,872	115,820
当期末残高	1,617,844	1,632,423	1,632,423	155,900	191,252	2,750,000	160,525	3,257,678	△129,503	6,378,443	17,962	△228	17,734	6,396,177

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

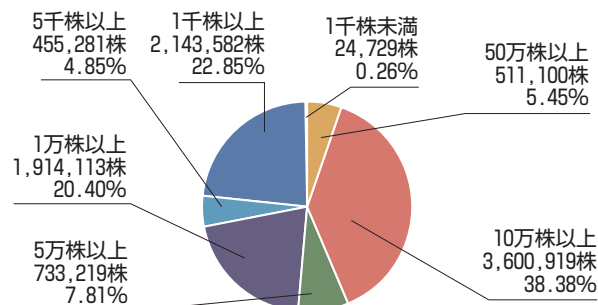
- ①発行可能株式総数 28,400,000株
- ②発行済株式の総数 9,382,943株
- ③株主数 2,143名
- ④大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱商事株式会社	511,100株	5.58%
株式会社八十二銀行	452,600株	4.94%
木下博隆	279,488株	3.05%
赤羽源一郎	275,170株	3.00%
国分西日本株式会社	274,428株	2.99%
藤徳物産株式会社	274,428株	2.99%
佐々木寛雄	258,402株	2.82%
旭松食品従業員持株会	232,742株	2.54%
熊谷政敏	226,528株	2.47%
株式会社大乾	224,428株	2.45%

※当社は自己株式232,705株を所有しておりますが、上記大株主からは除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有株式数別分布状況



▶ 取締役及び監査役 (平成28年6月24日現在)

代表取締役社長 木下博隆

取締役 蒲田充浩  
経営企画部長

取締役 村沢久司  
品質保証部長  
兼研究開発統括部長  
兼研究所長

取締役 藤森明仁

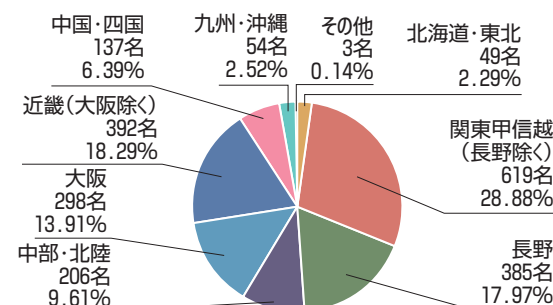
取締役 田中健一郎

常勤監査役 佐々木寛雄

監査役 伊坪眞

監査役 狩野拓一

▶ 地域別株主数分布状況



▶ 会社の概要 (平成28年3月31日現在)

商号 旭松食品株式会社  
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.

本店 長野県飯田市駄科1008番地  
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号

設立 昭和25年12月19日

資本金 1,617,844,105円

主な子会社 旭松フレッシュシステム株式会社、青島旭松康大食品有限公司、青島旭松康大進出口有限公司、新鮮納豆株式会社（第66期決算では連結対象外です）

従業員数 グループ人員：342名  
当社人員：238名

主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売

主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、即席みそ汁、スープ類

主要な拠点 当社の主要な営業所及び工場

本店 長野県飯田市駄科1008番地  
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号  
支店 東日本支店（東京都中央区）・西日本支店（大阪市淀川区）  
営業所 仙台営業所（宮城県）・名古屋営業所（愛知県）  
岡山営業所（岡山県）・福岡営業所（福岡県）  
工場 天竜第一工場・天竜第二工場・飯田工場・伊那工場  
（以上 長野県）  
※天竜第二工場の分工場としていた高森製造係は平成28年4月1日より、「高森工場」に昇格いたしました。

研究施設 食品研究所（長野県）

旭松フレッシュシステム株式会社  
本社 長野県飯田市駄科1008番地  
営業所 飯田営業所（長野県）  
物流センター 高森低温物流センター（長野県）

青島旭松康大食品有限公司  
本社 中国山東省青島市

青島旭松康大進出口有限公司  
本社 中国山東省青島市

ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>